第３学年　　道徳科学習指導案

１　主題名　　ささえてくれている人を思って　　B－７［感謝］

　　教材名　　とくジーのおまじない　出典：きみがいちばんひかるとき（光村図書）

２　主題について

（１）ねらい

　自分の生活が多くの人に支えられていることについて、普段は意識しないでいることが多い。その支えを「あたりまえ」と感じ、尊敬や感謝につながると思えないこともあるだろう。しかし、人は誰も皆、一人では生きていけない。自分を支えてくれた相手に対する尊敬と感謝の念をもつことは、とても重要なことである。

　また、よりよい人間関係を築くためにも、日常の中で自分の生活を支えてくれる人たちの存在に気付き、感謝をする心情を育むことは大切である。中学年においては、その対象を、家族や学校の教職員などに加え、地域の人たちや、現在の生活の礎を築いた高齢者などの先達へと広げるようにしたい。

（２）児童の実態

　本学級の子どもたちは好奇心が旺盛になってきており、活動範囲も広がってきている。子どもたちだけで行動していて、自分が誰かの世話になっているという意識が薄れてきている。

　そこで、自分の生活を支えてくれる人の存在に目を向け、その人たちの思いや存在意義に対する理解を深めることを通して、尊敬と感謝の気持ちもって接することができるようにしていきたい。自分の生活を支えてくれる人たちに、感謝する気持ちを具体的な言動に表すことができる子どもたちを育てたい。

（３）指導について

　本教材は、３年生の主人公のわたしが、学校から帰るときに門の所で、なかよし見守り隊のとくジーから必ずかけられることば「とくジーのおまじない」によって、毎日元気をもらっていることが描かれている。そして、感謝の気持ちを具体的な態度で表そうとしている子どもたちの姿が読み取ることができる。とくジーのおまじないは、自分たち在校生だけでなく、自分の兄や姉など、ずっと前から子どもたちにかけられてきた言葉である。わたしは、そんなとくジーを尊敬し、感謝の気持ちを込めて、とくジーのためにおまじないを考え、それを伝えるという教材となっている。３年生の児童にとって身近に感じられる設定であり、自分たちの日常生活と重ね合わせて考えることができる。この学習を通して、児童自身が自分の生活を支えてくれている人を具体的に思い浮かべ、その人への感謝の気持ちをもつことができるようになることを期待している。

３　本時の学習

（１）ねらい

見守りを続けてくれているとくジーに感謝の気持ちをもつ、「わたし」やきょうだいの思いを通して、自分の生活を支えてくれる人たちに、どんな気持ちで接すればよいかについて考えさせ、その人たちを尊敬し、感謝しようとする心情を育てる。

（２）準　備

【教師】拡大した資料、挿絵、わたしととくジーの名札、モニター

【児童】筆記用具

（３）学習過程

|  |  |
| --- | --- |
| 学　　習　　活　　動 | ◆支援　◎評価 |
| １　自分たちの生活でお世話になっている人を発表し合う。【全】・家族。ご飯を作ってくれる。・先生。いろいろなことを教えてくれる。自分の生活を支える人は、どんな人ですか。２　教材を読んで、とくジーがみんなにとってどのような存在なのかを考える。【全】・おまじないを言う人。・お姉ちゃんが小学校のころからずっと見守りをしてい　　る人。・いやなことがあっても、はげましてくれる人。「わたし」は、とくジーに、どんな思いをこめたおまじないの言葉を言ったのでしょう。でしょう。３　「わたし」は、とくジーに、どんな思いをこめたおまじないの言葉を言ったかを役割演技から考える。【全→個】・とくジー、いつもありがとう。・雨の日もいてくれてうれしいよ。・これからも元気で見守ってね。・のりおくんに聞いてからやればよかったな。自分の身の回りで、誰に、どのような「ありがとう」を伝えたいか考えよう。４　生活をささえてくれているのは、どんな人で、その人に対して、どんな「ありがとう」を伝えたいか考える。【個→全】・習い事の先生に「優しく教えてくれてありがとう。」と言いたい。・おじいちゃんに「一緒に散歩してくれてありがとう。」と言いたい。 | ◆意見を出しやすくするために、具体例を出す。◆教材に集中できるように、モニターに拡大した資料を掲示しながら範読する。◆登場人物の心情や行動、関係性が視覚的にわかりやすくするために、挿絵やセリフを掲示する。◆誰を演じているか見てわかるように、とくジーの名札を用意する。◆言いやすい雰囲気をつくるために、子ども同士や教師で一度役割演技を行う。◎相手に対して感謝の気持ちをもつことが、よりよい人間関係につながっていることに気付くことができたか。（発表）◆視野を広げるために、学校生活だけでなく地域の人など具体例を挙げる。◆感謝の気持ちを具体的に表すために、ワークシートを工夫する。◎自分の生活をささえてくれている人がたくさんいることに気付くことができたか。　　　　（ワークシート・発表） |